

令和3年9月6日

(件名)

## 2020年度男女共同参画行動計画の事業評価結果について

(総務部企画政策課協働推進室)

### 1 要旨

「第3次御前崎市男女共同参画行動計画」に掲げる目標数値について、行動計画3年目となる2020年度の施策の事業評価を実施した。また、新型コロナウィルス感染症感染拡大防止のため、対面での会議は実施せず、書面にて評価を実施した。

### 2 概要

#### (1) 評価者及び評価シート作成者

御前崎市男女共同参画推進市民会議委員（8名）、

御前崎市男女共同参画庁内推進委員会検討会委員（10名）、企画政策課

#### (2) 評価方法

事前に所管課（検討会委員）が作成した2020年度の事業評価シートをもとに、市民会議委員から質問や意見等をいただき、評価の妥当性を判断してもらった。

### 3 評価結果

#### (1) 評価結果の見方

下記のとおり、5段階で各項目（区分）を評価。

A：成果あり（達成率80%以上）、B<sup>+</sup>：ある程度は成果あり（60%～80%未満）

B：ある程度成果があるが不十分（40%～60%未満）、

B<sup>-</sup>：ある程度成果はあるが一層の取組が必要（20%～40%未満）、

C：積極的な取組が必要（20%未満）

#### (2) 評価内容

あらゆる分野における女性の活躍 誰もが活躍できるまち	基本方針	項目（区分）	★評価				
			A	B <sup>+</sup>	B	B <sup>-</sup>	C
1 男性中心型労働慣行 変革と女性の活躍推進	施策評価	行動計画に対する成果指標	現状値のため評価対象外				
		事業実績	1			2	2
		効果実績	1			3	1
2 政策・方針決定過程 への女性参画の推進	施策評価	行動計画に対する成果指標	1		1		
		事業実績		1	4		
		効果実績		1	2	2	
3 ワーク・ライフ・バランスの実現を可能にする職場環境の整備	施策評価	行動計画に対する成果指標	3				
		事業実績		1		1	2
		効果実績	1				3

	基本方針	項目（区分）	★評価				
			A	B <sup>+</sup>	B	B <sup>-</sup>	C
【安全・安心な暮らしの実現】 誰もが安心できるまち	4 男女双方の視点に立った防災活動の推進	行動計画に対する成果指標		1			1
		施策評価	事業実績		2		3
			効果実績		1		4
【安全・安心な暮らしの実現】 誰もが安心できるまち	5 女性に対する暴力の根絶	行動計画に対する成果指標	現状値のため評価対象外				
		施策評価	事業実績	2		1	1
			効果実績	2	1		1
【安全・安心な暮らしの実現】 誰もが安心できるまち	6 生活上様々な困難を抱える人々への支援	行動計画に対する成果指標	1		1		
		施策評価	事業実績	4	3		
			効果実績	5	1	1	
【安全・安心な暮らしの実現】 誰もが安心できるまち	7 性に関する理解促進と男女に対する健康支援	行動計画に対する成果指標	1	2			
		施策評価	事業実績	5		1	
			効果実績	5		1	
【男女共同参画社会の実現に向けた 基盤の整備】 お互いが認め合うまち	8 男女が共に担う子育てと介護への支援	行動計画に対する成果指標	2		1		
		施策評価	事業実績	2	4		2
			効果実績	1	4	1	2
【男女共同参画社会の実現に向けた 基盤の整備】 お互いが認め合うまち	9 固定的役割分担意識の改革	行動計画に対する成果指標	現状値のため評価対象外				
		施策評価	事業実績			1	1
			効果実績			2	1
【男女共同参画社会の実現に向けた 基盤の整備】 お互いが認め合うまち	10 人権の尊重と男女共同参画の意識を高める学習機会充実	行動計画に対する成果指標	2				
		施策評価	事業実績	3		2	
			効果実績	3	1	1	

#### 4 今後の方向（評価結果の活用等）

行動計画全体の成果指標では、A 評価「成果あり」及び B<sup>+</sup>評価「ある程度は成果あり」の項目が 13 項目で 76.5%となり、計画が概ね順調に進んでいると見込まれるなか、C 評価「積極的な取組が必要」と判断された項目もある。

具体的な取組の事業実績では、A 評価及び B<sup>+</sup>評価の項目が 26 項目で 50%となり、2019 年度評価の 69.2%に比べ 19.2 ポイント減少している。効果実績についても、A 評価及び B<sup>+</sup>評価の項目が 26 項目で 50%と昨年度評価の 59.6%に比べ 9.6 ポイント減少しているが、これらは新型コロナウイルス感染症の影響により事業が中止となったことが主な原因で、今後はコロナ禍においても可能な事業の実施方法を検討していく必要がある。

本年度は 8 年間の行動計画の中間年度にあたるため、現在の計画の達成状況や課題、昨今の社会情勢等を含めた新たな視点を取り入れ、男女共同参画社会づくり宣言事業所や各種団体との連携、協働による取組をさらに進めるなど、より実効性のある計画へ見直しを図っていく。